

(別紙5)

整理番号 2022P-275
補助事業名 2022年度被災地域および被災者受入地域における支援拠点、
ネットワークづくり活動補助事業
補助事業者名 一般社団法人WATALIS

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

学びと交流の場としてのコミュニティサロンやワークショップへの参加により、世代を越えて人との繋がりや心の触れ合いを感じながら、被災地域内で互いに見守りあう有機的な人的ネットワークを構築。長期化する被災地復興に地域の仲間と共に取り組んでいくという意識を醸成する。

コロナ禍の中において安心安全に配慮しつつも、地域に根ざした住民交流の新たな形を創り上げる。

(2) 実施内容

JKA補助事業 (<https://watalis.jimdo.com/公益財団法人jka補助事業/>)

1. コミュニティサロンの運営事業

- ・ 告知ポスター・チラシの作成、送付
- ・ SNSでの告知・発信
- ・ コミュニティサロンの運営



コミュニティサロンの様子
ワークショップの参加者が、ワークショップ終了後もお茶飲みしながら雑談するなど、地域住民の交流の場となっている。

・ 心を癒すハンドメイドワークショップ (全12回)

季節に合わせて毎回異なるテーマのフラワーアレンジメントを製作し、心の癒しにつながっている。フラワーアレンジメントのワークショップは、地域の女性達にとっても好評であり、参加者の年代も幅広い。次年度も継続して開催してほしいと要望の声が多い。

(別紙5)



2022/05/18
ワークショップの様子
フラワーアレンジメント「初夏」
ポスターを掲示した上で JKA の事業で
あることを口頭でも説明



2022/09/21
ワークショップの様子
フラワーアレンジメント「秋のスワッグ」
出来上がった作品と共に笑顔で記念撮影

・ 元気を育む自然と触れ合うワークショップ (全12回)

新たな活動として植物に触れたり育てたりすることで心身が元気になる「園芸療法」の視点を取り入れ、植物や自然素材を活用したものづくりワークショップを行った。



2022/11/09、2022/11/10
ワークショップの様子
ナチュラルクロック作り
自然素材の松ぼっくりに色を塗り、時計
の周りを飾った。



2022/12/21、2023/02/22
ワークショップの様子
ボタニカルキャンドル作り
器にドライフラワーなどを並べて蠟を流
し込み、アロマキャンドルを作った。

2 予想される事業実施効果

事業の継続により下記のような効果が見込まれる。

- ・ 地域内での認知度や信頼度が高まり、さらに新たな参加者層を呼び込むことがで

(別紙5)

きることから、地域コミュニティをさらに多様で豊かな人間関係に基づいたものに進化させることができる。

- ・コロナ禍の中で孤立化した被災者の心をケアする場としての機能を果たすことができる。
- ・地域住民間のネットワークづくりがさらに推進される。
- ・事業運営を支える補助金交付元がJKAであること、複数年継続して支援いただいている旨を継続して告知していくことができ、地域住民へ本事業の趣旨を広く周知することができる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

「心を癒すハンドメイドワークショップ」

開催告知ポスター: 50枚 チラシ: 1,000枚

「元気を育む自然と触れ合うワークショップ」

開催告知ポスター: 50枚 チラシ: 1,000枚

(URL) <https://watalis.jimdo.com/公益財団法人jka補助事業/>



事業報告書 (URL) <https://watalis.jimdo.com/公益財団法人jka補助事業/>

見守り合う仲間を創る『復興支援型コミュニティサロン事業』報告書』300部



(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人WATALIS (イッパンシャダンハウジンワタリス)

住 所： 〒989-2351

宮城県亶理郡亶理町字中町22

代 表 者： 代表理事 引地 恵 (ダイヒョウリジ ヒキチ メグミ)

担 当 部 署： なし

担 当 者 名： 代表理事 引地 恵 (ダイヒョウリジ ヒキチ メグミ)

電 話 番 号： 0223-35-7341

F A X： なし

E - m a i l： info@watalis.jp

U R L： <https://watalis.jimdofree.com/>